

放課後等デイサービス事業所における自己評価

評価年月日：令和 6 年 3 月 6 日

公表：令和 6 年 3 月 9 日

事業所名 就業支援専門ていせーず つつみ

項目	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		適切になるように利用人数の調整を行っています。
	2 職員の配置数は適切である	5	0	子どもの人数や状況により少ないこともあるが全員が全体を見渡せる配置についている。	配置が適切になるように勤務を調整しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3		現在の利用者に対して必要な場合が少く手すりやスロープなどの設備はない。今後車椅子の利用者がいた場合は、検討をしたいと思います。
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	5	0		朝礼や会議などで業務改善を図っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		アンケート調査以外にもLine公式アカウントを活用することで、保護者の意向を把握するように努め改善をしています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		今回が初めての公表になります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0		今年度外部評価を実施し、改善を行っています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0		研修の受講を促し、資格取得を助めています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		子ども・保護者のニーズや課題を支援時や送迎時・メッセージから常に確認を行うようにしています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		独自の標準化されたアセスメントツールを使用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0		活動内容について朝礼で確認を行うことができます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		各人により、必要な単元や必要な訓練を実施しており固定化されていません。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をさめ細やかに設定して支援している	4	1		個別支援計画書に沿った内容で平日、休日や長期休暇ごとに実施する課題を変更し、支援に携わっています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		主にコミュニケーションについて集団活動を主に実施する計画を行っています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		朝礼を実施し、前営業日・当日の共有をしています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0		業務時間の都合上、支援終了後は振り返りを各自で行い翌日に共有を行っています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		連絡帳というツールや個人ファイル・送迎表に記録をし、正しい記録をつけるように努力しています。
	18 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを判断している	5	0		必要に応じて、個別支援計画の見直しを行っています。
	19 がたドラインの規則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0		自立支援と日常生活の充実のための活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供を組み合わせ実施しています。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	5	0		役割に関係なく、生徒の状況を一番把握しているものが参画しています。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0		保護者や生徒を通じて学校との連携や、送迎トラブル時の連絡を都度行っています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	0		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3		現在情報共有が必要な生徒がないが、必要に応じて実施を行うことを検討しています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1		現在情報共有が必要な生徒がないが、必要に応じて実施を行うことを検討しています。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		日程の調整を行うことができず今年度は未実施である。来年度は研修を受講予定です。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		保護者・生徒のニーズとして少ないため、実施を行っていません。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	0	5		今年度は協議会の案内を把握することができず、不参加です。来年度は案内が来次第参加予定です。
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		連絡帳というツールやLine公式アカウントにより、共有をし合うことで、共通理解ができるように努めています。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2		相談が合った際に、ペアレント・トレーニングとしてどのように子どもと関わっていくか援助を行っている。	
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		契約時に説明を実施している。説明が不足していると考え、今年度運営規程の一部変更を行っています。	
31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		電話やLine公式アカウント・送迎時に対面等で保護者に合わせて実施を行っています。	
32 関係する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		保護者・生徒のニーズとして少ないため、実施を行っていません。	
33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		苦情に対して対応を都度行い、会議でも検討することで再発防止に努めています。	
34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		発信を行うための仕組みを整備し始めています。	
35 個人情報に十分注意している	5	0		改善を実施しています。	
36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		伝達の指図がある場合は、相手に伝わるように伝え方を改めて適切に伝わるように配慮をしています。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		行事などはないが、近隣住民とずれ違う際は挨拶を行っています。	
38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1		緊急時対応・感染症対応について、施設内に掲示をしています。	
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		年に2回実施をしています。	
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		年に1回実施をしています。	
41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		身体拘束を行う必要がある生徒が利用していないため、現在記載をしていないが、対象の児童がいた場合は検討をします。	
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		こちらから提供を行っていないため、実施していません。必要に応じて実施を検討します。	
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		朝礼や会議などで共有を行っています。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 6 日

アンケート期間：令和 5 年 10 月 10 日～令和 6 年 3 月 5 日

事業所名 就業支援専門ていーせる つつみ 保護者等数（児童数） 39 回収数 29 割合 74.36%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	4	0	8		施設内の5Sを行うことで、スペース確保を行います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1	0	8		職員間で協力を行い、生徒が安全に過ごすことができるよう行います。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	4	0	17		必要に応じて検討をしていきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ⅰが作成されているか	27	0	0	3		
	5 活動プログラム※ⅱが固定化しないよう工夫されているか	17	3	1	9		個々生徒の課題に応じて実施を行っていきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2	3	21	中学校で足りると思います。	ご要望が多くありましたら、検討をしていきたいと思っております。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29	1	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	27	3	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	6	3	0		面談の実施を定期的に告知していきたいと思えます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	12	14	中学校で足りると思います。	ご要望が多くありましたら、検討をしていきたいと思っております。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	0	0	14	苦情は私からは特にありません。Lineや電話で連絡できています。問題が起きていないため。	ご意見につきましては、すぐに対応できるように心がけております。今後もお気づきの点がございましたら、ご連絡お待ちしております。
	12 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	3	0	2		
非常 時 等 の 対 応	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	2	0	12		会報誌の配信の期間を見直し、発信をしていきます。
	14 個人情報に十分注意しているか	24	3	0	3		
非常 時 等 の 対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	4	1	8		下駄箱上に設置をしております。ご確認いただけますと幸いです。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	3	0	17		年に2回支援時間中に行っております。今後も対象日にご利用の生徒の皆様はご協力のほどお願いします。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	25	4	1	0	勉強は嫌いだけど、ていーせるに行くことを楽しみにしている。	嬉しいお言葉ありがとうございます。ていーせるを楽しみにしていただけることはもちろんですが、勉強も好きになってもらえるように職員一同尽力していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	27	3	0	0		

※ⅰ 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
 ※ⅱ 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

評価年月日：令和 6 年 3 月 6 日

公表：令和 6 年 3 月 9 日

事業所名 就業支援専門 ていーせる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導員室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		少し狭いので、机の配置を改善します。
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	玄関以外のバリアフリー化が行えています。玄関の通行時は職員が補助します。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	全職員が定期的に会議に参加して業務改善に取り組んでいます。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	外部評価を実施し、業務改善に取り組んでいます。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		半年に一度アセスメントシートを用いてアセスメント行っていますが、追加のツールを検討中です。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		4月から新しい活動も実施予定です。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		休日にしかできないような活動を検討します。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		全員集まることができていないので、全員で集まることができる時間を設定します。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	緊急性の高い事項を支援終了後に共有し、その他の事項は翌日に共有しています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		現在のところ、該当者がおりません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		保育所等と関わりを持っていないので、情報共有を行えるよう努めています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		現在のところ、該当者がおりません。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		活動する機会を探していきます。
	27 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
保護者への説明責任	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		保護者と相互に利用児童の支援方法を相談しています。
	29 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	30 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	31 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		保護者の皆様から意見を集め、今後の開催を検討していきます。
	32 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	33 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		会報の発行頻度を見直します。
	34 個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	35 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
非常時等の対応	36 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		地域参加型の行事を検討していきます。
	37 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	38 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	39 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	40 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に反映している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	41 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	アレルギーのある利用児童には昼食を持参してもらっています。	
	42 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 6年 3月 9日

アンケート期間：令和 5年 10月 10日～令和 6年 3月 7日

事業所名 就業支援専門 ていーせる

保護者等数（児童数）44

回収数

41

割合

93

%

環境・体制整備 適切な支援の提供	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備 適切な支援の提供	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29	5	1	5	少し狭い様に思う。	机の配置を変更します。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	24	6	0	10	通所の日の利用者が何人かわからない。	通所の人数に対し適切な人員配置を行っています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	6	0	22		
	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ⅰが作成されているか	32	6	0	2		
	5 活動プログラム※ⅱが固定化しないよう工夫されているか	29	6	1	4	いつもプリントの内容が同じ。	4月より新しい支援方法を導入予定です。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	2	15	14		活動する機会を検討中です。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34	5	1	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	36	1	2	0		相談を実施できる旨を再度告知します。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	10	5	2		面談を実施できる旨を再度告知します。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	20	15		職員間で協議し必要性があれば検討します。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	1	1	17		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	37	1	1	1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	9	1	6		
	14 個人情報に十分注意しているか	31	2	0	7		
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	29	6	0	5		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	4	1	17		
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	33	6	0	1	勉強は嫌いだけど、ていーせるに行くことを楽しみにしている。	
	18 事業所の支援に満足しているか	34	4	1	1		

※ⅰ 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるため

※ⅱ 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせ実施されることが想定されている。